

令和8年7月

各都道府県教育委員会教育長 様
各市区町村教育委員会教育長 様
各小中学校長 各位
各教育関係者 各位

全国小学校理科学研究協議会
会長 安部 貴史
第59回全国小学校理科学研究協議会研究大会
千葉大会実行委員長 望月 宏次

第59回 全国小学校理科学研究協議会研究大会 千葉大会（第二次案内）

第27回 関東甲信越地区小学校理科教育研究大会 千葉大会
第63回 千葉県教育研究会理科教育部会研究大会 千葉大会

- ◆ 期日 令和8年11月19日（木）・20日（金）
- ◆ 大会主題 「グローバル社会を生き抜く心豊かな人間を育てる理科教育」
- ◆ 千葉大会研究主題 一学びと指導の調和を目指して一

千葉大会研究主題について

学習指導要領改訂の具体的な方向性が見えてきました。現行の学習指導要領にもとづく子どもの学びの総括、そして改訂の趣旨を踏まえて理科教育の展望を考えるという重要な時に、本大会を開催します。改訂においては、これまでと同様、子どもたちの主体性を学習活動の軸とし、「科学的に課題解決をする経験や体験の一層の充実」や、「身の回りのことや日常生活、自然や社会の課題について、科目・分野横断的に探究する活動の充実」が検討事項とされています。授業改善には、子どもたちの主体的な学びを支えるという視点での授業デザイン、すなわち単元構成における教材の選定、指導の質と量、タイミングなど教師の果たす役割を明確にすることが求められています。

本大会では、子どもの主体的な学びと教師の指導との適切なバランスについて考えるため、かつて千葉市で行われた研究大会のテーマ「自然認識を発展させる理科教育 - 学習と指導の調和 - 」を基盤とし、その成果を今一度振り返り、吟味し、その上で新たな要素を加え発展させる『温故創新』を目指します。

- ◆ 主催 全国小学校理科学研究協議会 関東甲信越地区小学校理科教育研究会
千葉県教育研究会理科教育部会
- ◆ 後援 文部科学省 全国連合小学校長会 千葉県教育委員会 千葉市教育委員会
千葉県小中学校長会 千葉県教育研究会 日本初等理科教育研究会
(公財) ソニー教育財団 ソニー科学教育研究会
- ◆ 参加費・資料代 8,000円（大会要項・指導案代を含む）

* 昨今の物価高騰の影響に伴い、参加費を改定いたしました。あらかじめご了承ください。



千葉大会HP

〔1日目〕令和8年11月19日（木）

◆日程及び会場

全小理理事会、総会、研究全体会、講演会、レセプション

＜会場＞ TKPガーデンシティ幕張（東京ベイ幕張ホール）

○JR京葉線 海浜幕張駅 南口 徒歩10分

○JR総武線 幕張本郷駅よりバスで約20分（幕張メッセ東口 降車）

＜時程＞

9:30	10:00	12:00	13:00	14:00	15:30	17:00	17:15	19:30
受付	全小理 理事会	一般 受付 昼食	総会	研究全体会 ・基調提案 ・指導講話	記念講演	移動 受付	レセプション 希望者	

研究全体会

○基調提案

「グローバル社会を生き抜く心豊かな人間を育てる理科教育」

—学びと指導の調和を目指して—

○指導講話：文部科学省中等教育局教育課程課教科調査官 有本 淳 様

○記念講演

演題：「小学生へのミクロの世界の魅力的な紹介法」

講師：千葉大学名誉教授・千葉大学グランドフェロー 医学博士 野田 公俊 様

【講師紹介】

昭和26年青森県生まれ。長者中、八戸高校、東北大学を経て、昭和58年3月、東京大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。

コレラ毒素や0-157のベロ毒素、ピロリ菌の空胞化致死毒素など、多くの細菌毒素を無毒化する天然物質を世界で初めて発見。

日本細菌学会理事長として、「子供たちの理科離れ防止の教育講演」を全国的に展開。この講演活動により、2008年度文部科学大臣表彰「科学技術賞（理解増進部門）」を受賞。

千葉大学、大学院・医学研究院教授を経て、現在は、千葉大学名誉教授・千葉大学グランドフェロー。



〔2日目〕令和8年11月20日（金）

＜会場＞ 千葉市立本町小学校 千葉市立都賀小学校 千葉市立緑町小学校

＜時程＞

8:30	9:00	9:30	10:15	10:30	11:15	11:30	12:30	13:15	15:00	16:30
受付	オリエンテーション	公開 授業Ⅰ	移動	公開 授業Ⅱ	移動	授業 分科会	昼食	研究 協議会	全体会 指導講話	閉会



研究主題 「学ぶことを楽しむ児童の育成 ～学びを自分事とするための授業づくりを通して～」 学校HP

本町小学校では、直面する問題を【自分事】として捉え、未知の課題への挑戦を自らの知的な衝動として「学ぶを楽しむ」姿を目指しています。理科や生活科は、自然や身近な社会と直接関わりながら学ぶ教科です。児童は不思議さや驚きに出会い「なぜだろう」「もっと知りたい」という思いを抱きます。その芽生えた問いを大切に、自分なりの予想をもち、試し、確かめ、振り返ります。この一連の過程こそが、学びを自分事として高め、楽しむ営みであると考えます。「学ぶを楽しむ」経験を具現化するため、本研究では、児童の具体的な姿に即した【学びの自己決定】【学び方の調整】【多様な他者との学び合い】【学びと日常生活の関係付け】の4つの視点へと焦点化しました。自らが働かせている力を児童自身が認知し、主体的な学びが発揮されるよう教師が手立てを工夫して授業を構想することで、学びと指導の調和を目指します。

■公開授業Ⅰ（9時30分～10時15分）

■公開授業Ⅱ（10時30分～11時15分）

学年組	会場	授業Ⅰ 単元名	授業者	学年組	会場	授業Ⅱ 単元名	授業者
1 2	教室	あきのたからもの たんけんたい	矢原ひかる	1 1	教室	あきのたからもの たんけんたい	太田はる美
2 1	体育館	作ってためして！ おもちゃ研究所	綾部 庸輔	2 2	体育館	作ってためして！ おもちゃ研究所	沖本 健太
3 1	教室	じしゃくのふしぎ	土屋 貴嗣	3 2	教室	音のふしぎ	神取英里奈
4 2	理科室	雨水のゆくえ	加藤 雄瑛	4 1	家庭科室	もののあたたまり方	森 さやか
5 2	家庭科室	もののとけ方	岡本 美咲	5 1	教室	電磁石の性質	鴨志田知彦
6 2	教室	てこのはたらき	堀江 純一	6 1	理科室	水よう液の性質	山口 拓哉

■授業分科会（11時30分～12時30分）＊公開授業についての提案・研究協議

＊助言者は、学年別分科会と同じ

■学年別分科会（13時15分～15時00分）

分科会	発表内容（テーマ）	都道府県	発表者	助言者
3 年	個別の知識同士を関係付けた、概念的な知識の獲得を促す理科学習の創造	宮城県	仙台市立新田小学校 教諭 阿部 陸斗	仙台市立高砂小学校 校長 戸田 尚義
	「問題解決に没頭し、科学的により 妥当な考えを共創する理科学習 ～第3学年「電気の通り道」の学習 を通して」～	大分県	大分市立別保小学校 教諭 橋本 仰平	大分市教育委員会 学校教育課 指導担当班 指導主事 益戸 順一
4 年	自作教材を用いた科学的探究を促す 授業 「個」と「協働」で貫く1年 間の取組から	富山県	滑川市立南部小学校 教諭 武田 佳樹	滑川市立東加積小学校 校長 此川 美奈代
	自分の将来につながる理科教育のあり方～キャリア教育の視点を取り入れた理科教育の充実～	千葉県	成田市立三里塚小学校 教諭 小山 詩織	成田市立橋賀台小学校 校長 高橋 和宏
5 年	子どもたちが自走できる理科学習	神奈川県	川崎市立東柿生小学校 総括教諭 吉田 紀郎	横浜市立三保小学校 校長 鈴木 康史
	理科の見方・考え方を働かせながら、科学的に問題を解決し、表現する力を育てる理科学習～第5学年「電流と電磁石」の実践を通して～	鳥取県	岩美町立岩美西小学校 教諭 谷口 貴大	鳥取県教育委員会事務局 東部教育局 指導主事 谷本 忠士
6 年	自然に親しみ、自ら学びを進め、学びを深めるこどもの育成	大阪府	堺市立久世小学校 教諭 福井 大志	堺市立百舌鳥小学校 校長 池田 毅
	児童の考えを受け止め、適切な支援を考えた理科の学び～理科教育支援員との連携・小中接続の側面から～	千葉県	柏市立酒井根西小学校 教諭 中島 叶奈子	柏市立光ヶ丘中学校 教頭 齋藤 純徳

■全体会 指導講師 白梅学園大学客員教授 日置 光久 様



研究主題 「つながりを創る子どもの育成 ～心揺さぶる問題解決の授業を通して～」

学校HP

都賀小学校では、同じ問題に向かい、多様な考えと出会い、ぶつかり、つながりながら学んでいく「みんなで学ぶ」価値を問い直します。そこには一人ではたどり着けない深い学びがあります。その学びを動かす原動力は、心揺さぶる『感動』です。そのために、授業のプロセスに子どもたち自身が心を動かし、学びへと向かいたくなる手立てを組みました。新しいものとの出会いに驚き、目を輝かせながら仲間と考えを交わし、夢中になって観察や実験に取り組んで、深い納得で日常の景色が変わる。同じ瞬間、同じ場所で共に観るからこそ、感動は何倍にも広がります。その感動を媒介にして子どもたちは【他者・対象・とき】と自らつながり始めます。教師がつなげ、子どもがつながる。都賀小学校は、持続可能な社会の創り手を育むために、熱気あふれる「つながる」学びの実現により、学びと指導の調和を目指します。

■公開授業Ⅰ（9時30分～10時15分）

■公開授業Ⅱ（10時30分～11時15分）

学年組	会場	授業Ⅰ 単元名	授業者	学年組	会場	授業Ⅱ 単元名	授業者
2 2	教室	めざせ生きものはかせ	原田美栄子	1 2	生活科室	きせつとなかよし あき	藤代 直樹
3 1	図工室	じしゃくのふしぎ	池田かな恵	3 2	図工室	電気の通り道	角山 昂貴
5 3	教室	もののとけ方	栗原 竜生	4 1	教室	電池のはたらき	栗和田 耕
6 1	教室	私たちの生活と電気	志村 景	5 1	理科室	電磁石の性質	志賀 直人
6 2	理科室	水よう液の性質	飯田 大幹	5 2	教室	もののとけ方	折居 千尋
				6 3	家庭科室	私たちの生活と電気	園部 りお

■授業分科会（11時30分～12時30分）＊公開授業についての提案・研究協議

＊助言者は、学年別分科会と同じ

■学年別分科会（13時15分～15時00分）

分科会	発表内容（テーマ）	都道府県	発表者	助言者
3年	仲間と対話し、問題を科学的に解決する子供 ～選択・判断に焦点を当てた授業づくり～	山梨県	山梨大学教育学部附属小学校 教諭 河西 佑哉	南アルプス市立櫛形西小学校 校長 河野 太郎
	科学的な問題解決に浸る3年生の子ども ～物の重さ 他～	滋賀県	滋賀大学教育学部附属小学校 主幹教諭 山際 真知子	湖南市立三雲東小学校 校長 三浦 久輝
4年	児童が学びたいと思える学習環境をつくる工夫	東京都	世田谷区立城山小学校 教諭 大澤 俊介	世田谷区立城山小学校 校長 佐藤 弘典
	教具の工夫を通して科学的な見方・考え方を育む～身体イメージの変容を促すモデル学習の実践～	千葉県	松戸市立大橋小学校 教頭 三島 隆志	松戸市立幸谷小学校 校長 田中 邦彰
5年	自然事象のしくみを捉える指導の在り方 ～「流れる水のはたらき」の学習を通して～	岐阜県	岐阜市立長良小学校 教諭 篠田 耕佑	岐阜市立梅林小学校 校長 河合 清太
	子どもが自律的に学ぶ理科学習	宮崎県	宮崎大学教育学部附属小学校 教諭 永友 周作	都城市立麓小学校 校長 宮元 俊行
6年	自然事象から生まれる「問題」と「解決」 事象を意味付け追究する理科学習の在り方	北海道	北海道教育大学附属札幌小学校 教諭 石黒 正基	札幌市立新琴似緑小学校 校長 相高 秀彦
	因果関係を追究する理科学習	千葉県	木更津市立真舟小学校 教諭 齋藤 正樹	君津市立北子安小学校 校長 小嶋 裕一

■全体会 指導講師 福島大学教授 鳴川 哲也 様



研究主題 「子どもの心に灯がともる学びの創造 ～子どもの思考に寄り添った理科・生活科～」 学校HP

緑町小学校では、研究主題を「子どもの心に灯がともる学びの創造 ～子どもの思考に寄り添った理科・生活科～」と設定しました。「心に灯がともる」とは、子どもの問題追究への活動意欲が高まり、学習で得たものを次の学習や生活に活かそうとしたり、自らの気づきや考えの変容を自覚して成長を実感したりすることだと考えます。「心に灯がともる」ことにより、主体的に学習する姿が実現し、それぞれの授業で目指す資質・能力が更に伸ばされていくだけでなく、自らの未来を切り拓いていく力の育成を目指します。そのために、単元を通して学ぶ意欲を喚起する導入や、学びの連続性を生み出しこれからの生活へと繋げる振り返り（理科日記、学びのあしあと）を行い、子どもの思考に寄り添った授業づくりを追究します。子どもたちの学ぶ姿から、教師が関わり方や手立てを工夫していくことで、学びと指導の調和を目指します。

■公開授業Ⅰ（9時30分～10時15分）

■公開授業Ⅱ（10時30分～11時15分）

学年組	会場	授業Ⅰ 単元名	授業者	学年組	会場	授業Ⅱ 単元名	授業者
1 3	生活科室	あそんでつくって ～みつけた！あきのたからもの～	峯木 隼人	1 1	生活科室	あそんでつくって ～みつけた！あきのたからもの～	鈴木 遥
2 1	音楽室	作ってためして ～うごかす力のひみつ～	竹澤 優奈	1 2	教室	あそんでつくって ～みつけた！あきのたからもの～	古澤 奏子
2 3	多目的室	作ってためして ～うごかす力のひみつ～	大手 文香	2 2	音楽室	作ってためして ～うごかす力のひみつ～	前島 若菜
3 1	教室	じしゃくのふしぎ	矢尾板聖仁	3 2	教室	電気の通り道	濱地 愛
3 3	教室	電気の通り道	樽岡 沙織	4 1	教室	わたしたちの体と運動	椎名 麻人
4 2	家庭科室	もののあたたまり方	北田 充穂	4 4	家庭科室	ものの温度と体積	花澤 利圭
5 1	理科室	もののとけ方	安藤 清香	5 2	教室	電磁石の性質	塩原亜衣子
5 3	教室	電磁石の性質	林 雅己	6 1	理科室	水溶液の性質	林 亮佑
6 2	アリーナ	土地のつくりと変化	中村 隆志	6 3	教室	土地のつくりと変化	三箇 昭子

■授業分科会（11時30分～12時30分）＊公開授業についての提案・研究協議

＊助言者は、学年別分科会と同じ

■学年別分科会（13時15分～15時00分）

分科会	発表内容（テーマ）	都道府県	発表者	助言者
3 年	理科の見方・考え方を働かせて、科学的に探究する子の育成～「風とゴムのはたらき」の学習を通して～	石川県	金沢市立安原小学校 教諭 南 和将	野々市市立御園小学校 校長 小橋 昌明
	デジタル教材を使った理科学習～ARおよび3D図鑑を活用した3年「チョウのかんさつ」の学習を通して～	千葉県	船橋市立薬円台小学校 教諭 坂山 永祐	船橋市教育委員会指導課 指導主事 松下 伊織
4 年	考察場面を充実させる理科学習～科学的手続きを重視した理科の授業づくり～	千葉県	千葉市立土気南小学校 教諭 植草 創太	千葉市立緑町小学校 前校長 三橋 勉
	自然を見つめ、科学的に問題解決して切り拓く子どもを育む理科授業の創造	鹿児島県	鹿児島大学附属小学校 教諭 小瀬 直人	鹿児島県総合教育センター 研究主事 北原 深志
5 年	問題解決学習の過程を意識した授業づくり～校内研修の取組を通して～	兵庫県	太子町立太田小学校 教諭 富田 啓	たつの市立香島小学校 校長 前川 正樹
	自らの学びを振り返り、調整しながら理科学習に取り組む児童の育成～「主体的に学習に取り組む態度」の評価の工夫～	千葉県	市原市立白金小学校 教諭 佐藤 翔	市原市立牧園小学校 校長 廣瀬 秀和
6 年	問題解決を軸に学びをつなぐ理科授業デザイン	東京都	杉並区立松ノ木小学校 主幹教諭 伊東 英信	杉並区立高井戸小学校 校長 笠原 秀浩
	自然観を豊かにし続ける子どもの育成～子どもの認識のつながりを意識した「単元化・教材化」の工夫～	香川県	高松市立古高松小学校 教諭 原 慎太郎	香川大学教育学部附属高松小学校 副校長 小早川 覚